

講義名称	教育実習指導<通年・隔週>
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	1.0
科目群（区分）	教職
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年後期～4年通年
必修・選択	自由
卒業認定・学位授与の方針との関連	自由科目につき該当なし（自由科目につき該当なし）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	16302081

担当教員

氏名	所属
◎ 松田 淳	大学・人間社会科学部・社会福祉学科
川邊 弘之	大学・人間社会科学部・社会福祉学科

授業概要	3年後期：教育実習に向けて、免許取得科目の模擬授業 4年前期：教育実習のオリエンテーションおよび外部講師による事前指導 4年後期：教育実習の報告と課題レポート
到達目標	模擬授業を通して、実践的な能力を獲得すると共に、健康面・生活面、実習授業、観察授業など、教育実習への準備態勢を整えることが出来る。また、実習後の報告を通して、授業および教師としての気付きや改善について考えることが出来る。

授業計画表

授業計画表	
第1回	【授業計画】 3 年次(後期)：（第 1 回から第15回） 教育実習に向けて、免許取得科目の模擬授業 4 年次(前期)：（第 1 回から第15回） 教育実習のオリエンテーション ー心構え、健康面・生活面、実習授業、観察授業実習時における服装チェックー ー外部講師(高等学校)による事前指導ー 4 年次(後期)：（第 1 回から第15回） 教育実習の報告(気付きや改善点について) 3 年次との相互交流(教育実習に向けて) 教育実習を通して学び得たこと(課題レポート) 【事前事後学修の内容】 3 年次(後期)：（第 1 回から第15回） 教育実習科目の総復習と指導案の作成 4 年次(前期)：（第 1 回から第15回） 教職科目の総復習 4 年次(後期)：（第 1 回から第15回） 実習報告要旨の執筆 【事前事後学修時間（分）】 90

履修に必要な予備知識や技能	教育実習で授業する科目を総復習しておくこと。
課題に対してのフィードバック	模擬授業は、授業後に指導案も含めて評価表に基づきコメントする。（3年後期） 実習後は、実習報告に基づき授業中にコメントする。（4年後期）
評価方法・基準	指導案作成・模擬授業・実習報告書70%、受講態度（授業への参加度、事前学習）30%
教科書	教科書：なし 参考書：オリエンテーションにおいて関係資料を配付する
実務経験の内容・期間	高等学校教諭（松田淳、36年）、高等学校教諭（川邊弘之、3年）